

清水不二見小6年生 企画

静岡市清水区の清水不二見小は9日、6年生の児童77人が企画した地域ウォークラリーイベントを実施した。授業で不二見地区の魅力を探索してきた児童が、地域住民にも地区の良さを発見してもらおうと初めて企画した。

地域の魅力 児童が案内

寺や飲食店
総合運動場
住民歩いて再発見

住民や保護者ら約150人が参加し、児童の先導などで同校を出発して、近隣の寺や飲食店、総合運動場などを回るコースを巡った。参加者からは「改めて地域を歩いて変化に驚いた」「子どもたちのアテンドがとても上手で楽しめた」などの感想が聞かれた。

倉田律花さん(12)は「子どもから大人まで楽しんでもらうための準備が大変だった。普通の小学生が地区を動かすという良い経験ができた」と振り返った。

地元企業の技術を体験する実験や、オリジナル手ぬぐいとパンの販売なども行った。手ぬぐいの売り上げは能登半島地震の義援金に充てる予定。(清水支局・大村花)



ウォークラリーに出発する参加者と先導する児童
＝静岡市清水区の清水不二見小

記事を読んで、問いに答えましょう。

①児童が企画した地域ウォークラリーイベントでは、どんな場所を回りましたか。

(近隣の寺や飲食店、総合運動場など)

②このようなイベントに向けて、児童にはどんな準備が大切だと思いますか。

(例)・地区を歩いて、その魅力を十分に調べておく。

・コースを調べて、道案内ができるようにしておく。

・案内場所について何を伝えるのかまとめ、話す練習もしておく。 など

③記事中の参加者の感想や児童の感想を参考に、このイベントの意義を30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

(例)・地域住民が歩いて地区の良さや変化を再発見することができた。(29字)

・子どもたちが地区を深く知り、その魅力を感じることができた。(29字)

・地区の人を動かすという、子どもたちにとって良い経験ができた。(30字) など